

平成21年11月2日土木学会報告会

7. 今後の土砂災害対策

山口大学大学院理工学研究科
羽田野袈裟義

今回の土砂災害発生のまとめ：

10分間雨量10mm以上、1時間雨量72mm、6時間雨量220mm
21日11時から12時の間にダメ押しの強い雨
マサ土の地域で土石流・土砂災害が発生

土砂災害発生地の過去の災害履歴

- 今回の土砂災害の発生地は、過去100年以上遡れば、過去に土砂災害が発生している。
- 剣川
上勝坂地点で過去の土砂流出を示す層状の堆積が確認されている。
砂防ダムや治山ダムが配置されている。
- 真尾地区
災害の原因となった沢の上流に堰堤があり、老人ホームは扇状地にあった。地質の年代測定では200年前に土石流発生を推定している。
- 石原・高松地区
石原100年ほど前、高松60年ほど前に土石流が発生している。
過去に土砂流、土石流が発生した形跡の地層が確認された。
- 今後：地名に注意が必要(石原など)



アクティブセイフティー：

防災意識の普及：素人に分かりやすい説明を

降雨への認識

雲の色の濃さ、上流山地上空の雲、西の空の雲、
1時間雨量、10分間雨量、累計雨量の目安

地形・地質への認識：

急傾斜、扇状地、マサ、シラス

当地の過去の災害への認識

災害の伝承、地名、古老・農家の人の情報、低価格の土地
当地出身の土木技術者

防災施設への認識

砂防ダム、治山ダム、擁壁は豪雨時に土石流、地すべり、がけ崩れが
起こりうる危険箇所の信号

砂防ダム・治山ダム管理の土木事業

住民の安全確保、国家財政の健全化、中山間地の雇用創出、
作業に従事する住民の活きた防災教育

技術開発

土砂災害のハード面の対策

土砂流の家屋迂回(土砂埋没への補助の問題)

防災行政組織・行動の効率化：

アクティブセイフティー

責任追及社会にあつて、行政の避難指示は硬直化しやすい。

今後は、災害に関係する物理現象と防災対策との関係や仕組みを素人が
分かりやすく説明して、各自の自主的判断の力をつけることが必要。

行政担当者

国でも自治体でも、防災を担当する部署の権限あるポストに自然災害や
防災の知識を殆んど持たない職員が配置され、2・3年で転勤するケー
スが殆どである。この状態を改善し、防災を实のあるものにするのが急
務である。

